

病院局

# 病院総務課

課長 豊原 広幸

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	四賀の里クリニック事業		
担当所属	松本市四賀の里クリニック	連絡先	64-2027
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	2 健康・医療・福祉				
基本施策	2-3 地域医療・救急医療の充実				
総合計画	分野	2 健康・医療・福祉	予算事業	中事業名	診療所事業
	基本施策	2-3 地域医療・救急医療の充実			
事業期間	~	会計種別	病院事業会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

<b>事業概要</b> <b>趣旨・目的</b> 松本市四賀地区の唯一の医療機関として、地域医療の観点から、一次救急医療、地域に必要な医療を提供するもの  <b>内容</b> 【四賀の里クリニック概要】  1 職員数 16人 2 診療科 内科、外科 ・内科のうち、専門外来として呼吸器、糖尿病、循環器 ・外来診療の他、特定検診・予防接種を行っている。 3 診療時間 平日8時30分～17時15分 4 在宅医療 往診や訪問診療はもとより、訪問看護及びオンコール当番により看護師、医師による看取り等を含む時間外対応を行っている。 5 その他 四賀地区の地域性から独居老人が多いため介護事業者と連携したサポート体制に取組んでいる。 6 交通手段のない患者の輸送を行っている。 7 患者数 10,081人 (R1) → 9,497人 (R2) → 8,867 (R3) → 9,121 (R4)	<b>対象指標</b>	
	①	
	②	
	<b>活動指標</b>	
	①	
	②	
	③	
	<b>成果指標</b>	
	①	経常収支比率
	②	
③		
<b>効率指標</b>		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)		今後の見込み				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続			
平成30年4月に病院から無床診療所へ移行し、令和元年度からは常勤院長及び非常勤医師2人体制で地域医療の充実を図っている。令和4年度は、薬剤師を1人配置し診療体制の充実を図った。新型コロナウイルスの検査等が増となり外来患者及び外来収益は若干増となったが、新型コロナウイルス対策に係るワクチン接種料及び補助金の大幅な減などもあり材料費減に取組んだが、若干の赤字決算となった。引き続き医療提供体制の充実及びコロナ後の診療体制を再整備し外来収益の増加に取組むとともに費用の削減に取組んでいく。		成果	コスト			
			上昇	削減	維持	増大
			維持	○		
縮小						
二次評価 (外部評価)						

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	%	102	106	99	100	100		99%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
トータルコスト	千円	241,110	233,130	223,250	237,157	265,090	
事業費	千円	174,397	168,810	159,000	169,139	197,072	
特定財源	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	受益者負担	千円	19,087	19,213	17,840	17,565	24,344
	その他	千円	140,720	130,217	121,380	117,534	172,728
一般財源	千円	14,590	19,380	19,780	34,040	0	
人件費合計	千円	66,713	64,320	64,250	68,018	68,018	
正規職員	千円	22,680	22,680	22,680	30,240	30,240	
人員	人	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	22,500	20,700	20,700	14,700	14,700	
人員	人	7.5	6.9	6.9	4.9	4.9	
会計年度(3類)職員	千円						
その他職員	千円	21,533	20,940	20,870	23,078	23,078	
トータルコストの増減維持理由							
令和4年度は正規薬剤師1人増、会計年度2人1類→4類へ 令和4年度は新型コロナの補助金及びワクチン接種料減などにより一般財源が増							

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--